

# OME 市議会だより

No.273

令和7年(2025)

11月15日

令和7年青梅市議会定例会  
8月臨時議会・9月定例議会

# 令和6年度決算を認定

活動報告 /  
姉妹都市  
ポツパルト訪問  
7ページに掲載

## 会議の開催状況

- 7月9日 文化複合施設整備特別委員会  
【8月臨時議会…期間8月5日(1日間)】
- 8月5日 議会運営委員会、本会議(議案審議等)、  
予算決算委員会理事会
- 8月25日 議会運営委員会  
【9月定例議会…期間9月3日から25日(23日間)】
- 9月3日 議会運営委員会、  
本会議(議案審議、一般質問等)
- 9月4日 本会議(一般質問)
- 9月5日 本会議(一般質問)
- 9月8日 総務企画委員会、環境建設委員会、  
福祉文教委員会
- 9月11日 予算決算委員会(一般会計補正予算)、  
全員協議会
- 9月12日 議会運営委員会、  
本会議(委員会議案審査報告等)、  
総合病院建替特別委員会
- 9月16日~19日 予算決算委員会(一般会計決算)
- 9月25日 議会運営委員会、  
本会議(委員会議案審査報告等)、  
文化複合施設整備特別委員会
- 10月1日 福祉文教委員会

## 今号の概要

令和7年8月臨時議会が8月5日に開催され、議案1件が原案どおり可決されました。

令和7年9月定例議会は、9月3日から25日までの23日間の期間で開催され、議案審議後、一般質問が行われました。上程された議案は、令和6年度決算が7件、条例6件、補正予算5件、契約1件、人事3件の全22件で、いずれも原案どおり可決、認定または同意されました。また、陳情1件が審議され、趣旨採択となりました。

【主な内容】 ◆予算決算委員会での主な質疑・2面 ◆令和6年度での主な施策・一般会計決算討論要旨・3面 ◆一般質問・4~7面  
◆活動報告・7面 ◆議案・陳情の議決結果・8面 ◆主な議案の内容・8面 ◆12月定例議会の会議予定・8面



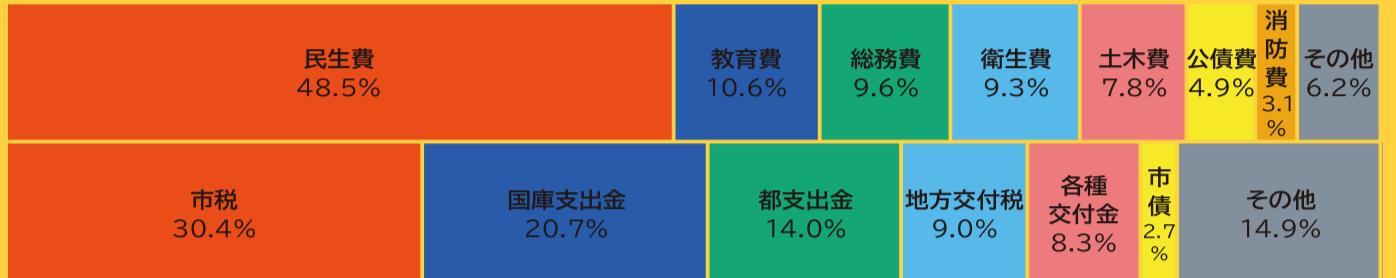
## 令和6年度一般会計予算

決算の概要については、  
ホームページをご覧ください。  
青梅市ホームページ二次元コード→



# 決算をCheckしました！

CHECK 歳出  
→62,778,640,395円



CHECK 歳入  
→64,900,519,772円

※モーターボート競走事業の収益金として、同事業会計から29億円の繰入れがありました。



議案は、議長を除く全議員で構成される予算決算委員会に付託され、  
9月16日から19日の4日間にわたって審査を行いました。



## 予算決算委員会での主な質疑

### 【総務費】

#### 高齢者等タクシー運賃助成事業の試行

- Q. 令和6年度の試行でどのような意見があり、それを踏まえて本格実施に向けてどのような検討をされたのか。
- A. 利用者アンケートの結果としては、他のタクシー事業者への拡大や利用時間帯の拡大を求める意見があった。こうした試行の結果を踏まえて、本格実施に向けて、より利用者が使いやすい内容へ見直ししていくことを検討している。

#### 移住・定住促進プランの推進

- Q. 市外での移住相談の回数はどの程度で、その結果をどのように考えているか。
- A. 市外での移住相談については、有楽町にあるふるさと回帰支援センターの東京都ブースで、毎月、移住相談会などを開いたほか、ふるさと回帰センターが開催するフェアや東京都が開催する移住フェアなどに参加した。多くの熱心な方が移住相談に来てくださり、移住への関心の高さ、特に青梅市への関心の高さというものが伺い知れたところである。

### 【民生費】

#### 地域包括支援センター

- Q. 土曜日窓口を開設したとのことだが、令和6年度の利用状況や利用者の声などはどうだったのか。
- A. 土曜日の相談件数は、合計で1,500件余、相談件数全体の約1割であった。利用者の声は伺ってはいないが、平日に仕事をされている御家族等が相談しやすくなったものと捉えている。

#### 育児支援ヘルパー事業の拡充

- Q. 育児支援ヘルパー事業とはどのような事業であるか。令和6年度に事業の利用上限が2回から12回に拡充されたが、今後、さらに拡充する検討はしたのか。
- A. 出産予定日まで1か月以内の方または出産後6か月以内の妊産婦のいる家庭で、ほかに協力者のいない方を対象として、子育て支援を行っているNPO団体に委託し、育児、家事等の援助を行うヘルパーを自宅に派遣する事業として実施した。令和6年度の利用状況を踏まえ、令和7年度は、利用期間を母子健康手帳交付時から出産後12か月以内に、利用できる時間を1回2時間であったものを3時間に、最大で60時間まで使えるよう拡大した。

### 【衛生費】

#### 省エネルギー住宅改修補助金および創エネルギー住宅改修補助金

- Q. 補助金の反響と予算の執行状況について伺う。
- A. 利用者からは、省エネに対する意識が向上した、光熱費が安くなったとの声が届いており、大変好評であった。令和6年度は、2度の補正予算を計上し、その大部分を執行した。

### 【土木費】

#### 風の子・太陽の子広場体験小屋新築工事

- Q. 体験小屋については、具体的にどのような使用を考えているのか。
- A. まき割り事業や自然材を使った遊び、市で行っている青梅産材を使ったクラフト教室などでも使用できると考えている。

### 【消防費】

#### 災害バルク等設備設置

- Q. 避難所に設置した災害バルクとはどのようなものであるか。また、災害時以外での使用の検討状況を伺う。
- A. 災害バルクは、停電時に自動で運転を開始する発電装置である。令和7年6月に開催した成木地区での土砂災害対応訓練では、成木小学校の体育館のプレーカーを強制的に落としたが、災害時用バルクが自動的に始動し、空調設備が支障なく運転できた。今後は、総合防災訓練等や、それぞれの地域で活用していただけるよう周知していきたい。

### 【教育費】

#### エデュケーション・アシスタント

- Q. エデュケーション・アシスタントを各学校に配置したことによりどのような効果があったか。
- A. 特に低学年は、生活指導も含めた個別支援が必要であり、学級担任一人では困難な面があるため、学校からは、児童の体調不良や突然のトラブルのときのエデュケーション・アシスタントによる対応で学級担任が安心して授業を行えたとの感想や、児童からすぐに担任やエデュケーション・アシスタントにいろいろな相談ができるため、休み時間や授業中の児童の不安感が減少したとの意見をいただいている。
- ※エデュケーション・アシスタントとは小学校1～3年生の学級担任を補佐し副担任相当の業務を行うスタッフ。

#### フリースクール等民間施設事業費補助金

- Q. 補助金の概要と交付した団体、通学している子どもの人数を伺う。
- A. 1施設当たり50万円を2件に対して支援を行った。補助金を交付した団体は、新町のNPO法人レインボールームと柚木町のNPO法人風の時代学校である。レインボールームは市外も含め30名程度、風の時代学校は10名程度である。

### 【歳入】

#### 自動音声電話催告システム

- Q. 市税収入の新たな取り組みとして、自動音声電話催告システムの運用を開始したとのことだが導入の経緯を伺う。
- A. 滞納者へのアプローチとして電話での催告も行っているが、なかなか出ただけなかったり、代表電話からかけた場合に着信拒否する方がいるなど対応に苦慮していた。そこで同システムを先行して導入した自治体に状況を確認し、非常に有効なシステムであると認識したため、令和6年度中の導入を図った。

### 【総括質疑】

#### 令和6年度決算の総括

- Q. 市長は令和6年度の決算をどのように総括されるのか。
- A. 社会保障費の増加や物価高の影響などにより、歳出規模が大きくなる中、実質単年度収支はマイナスとなったものの、財政調整基金や公共施設整備基金といった後年度負担に備えた基金の積み増しを行うことができた。また、経常収支比率は、98.7%と依然として高い水準ではあるものの、昨年度より0.4ポイントの改善が見られている。このことから、令和6年度は厳しい状況下でありながら、堅実な財政運営の下、予算に計上した各施策を実行することができたと思う。



第7次青梅市総合長期計画を踏まえ  
各分野の施策を実行



# 令和6年度の主な施策



**総務費**…庁舎の維持管理、税務、戸籍、選挙、統計などに関する経費

- ◆結婚おめでとう生活祝い金
- ◆マイナンバーカードを活用したタクシー運賃助成事業の試行
- ◆グリーンスローモビリティの実証運行



**民生費**…社会福祉や高齢者福祉、児童福祉などに関する経費

- ◆重層的支援体制整備事業
- ◆保育所等に対し副食費補助
- ◆定額減税補足給付金
- ◆住民税非課税世帯給付金



**衛生費**…予防接種や健康診査などの保健衛生、環境保全、ごみ処理などに関する経費

- ◆高断熱窓や太陽光発電システム、蓄電池システム設置の補助
- ◆スマホアプリを利用した健康ポイント事業



**農林水産業費**…農林水産業の振興や農林業施設の維持管理、農業委員会の運営などに関する経費

- ◆地域農業経営基盤強化促進計画策定
- ◆ツキノワグマ防除対策事業



**土木費**…道路、橋りょう、公園の整備や維持管理などに関する経費

- ◆青梅駅前地区市街地再開発事業補助金
- ◆今井土地区画整理推進事業
- ◆風の子・太陽の子広場改修工事



**消防費**…消防や災害対策などに関する経費

- ◆小中学校11校に災害バルク等設備を設置
- ◆市民センター等の屋内避難施設14箇所にWi-Fi環境を整備
- ◆消防団の小型動力ポンプ積載車8台、資機材搬送車1台を更新



**教育費**…学校教育や文化・スポーツ振興などの社会教育に関する経費

- ◆副担任相当の業務を行うエデュケーション・アシスタントを各学校に配置
- ◆小中学校整備事業（校舎および屋内運動場の外壁等改修や照明LED化工事）
- ◆新学校給食センター建設工事
- ◆旧長淵水泳場をエクストリームスポーツパークに整備
- ◆美術館の改修工事



出席者全員賛成で認定

# 討論要旨

定例議会最終日に、予算決算委員会で審査した結果を委員長が報告し、各会派が討論を行いました。討論の主な内容を掲載します。(掲載は発言順)

## ①日本共産党青梅市議団



- 高齢者の補聴器購入助成事業…制度の導入は高く評価するが、対象を課税者にも拡充し、上限額の引き上げを要望する。
- マイナンバーを利用したタクシー補助事業…紙の券を活用している他自治体の事例を参考に、制度の見直しを強く求める。
- 文化複合施設整備事業…ホールや駐車場などさまざまな課題が多いため、市民や文化団体の理解を得る努力をする必要がある。

実質単年度収支1,138万円余のマイナスとなったが、公共施設整備基金に10億円を積み増すなど、堅調な内容となった。しかし、青梅市財政がモーターボート競走事業収入に支えられている構造を見直していくことも急務であることを強調する。問題の根本には、地方自治体の財政基盤がぜい弱で、地方自治体の自助努力や競り合いでは解決出来ない構造があることであり、政府に対して、この構造を見直すことをぜひ求めていただきたい。

## ②日本維新の会



- DXによる業務効率化…業務効率化ツールにより800時間以上作業削減を実現し、継続的な取り組みについて高く評価する。
- 移住定住促進策…PR動画作成、移住相談、様々な補助金等の制度を新設・拡充し、人口の社会増を実現した取り組みについて高く評価する。
- 防災力強化…消防団の車両更新、災害バルク等設備設置、避難所等のWi-Fi環境整備、危険箇所調査等、災害に強いまちづくりを推進した取り組みについて高く評価する。

厳しい財政状況に変わりはないが、市債の返還や基金の積み増し等、できることを着実に実施したと評価する一方で、今後10年間の財政見通しは、大規模事業経費が財政不足を生じさせる見込みである。文化ホール施設建設費は、約218億円から約142.1億円へ削減されたものの、なお多額の費用が必要であり、将来的な財政不安を感じさせるものであった。多額の費用を要する文化ホールの建設に関しては、費用対効果や政策的優先度等について、検討の余地が残っているものと考えられる。

## ③公明党



- 育児支援ヘルパー事業…派遣回数拡充により利便性が向上し、利用数は4倍程度に増加した。施策の拡充を評価する。
- 東京アドベンチャープロモーション事業…奥多摩町と連携したSNSのフォロワー数が1.5万人超え、地域観光の活性化に大変有効であったと評価する。
- 中学3年生向けの受験対策事業…高校受験に結果が現れており実績を評価するが、希望者多数で抽選であるため、すべての生徒が参加できるように希望する。

経常収支比率は、前年度より0.4ポイント改善したが、予算決算委員会の質疑を踏まえると、今後も大きな改善は難しいと認識した。市税全体では1.5%減となり、地方特別交付金を合わせ200億円を上回るも、さらなる増収へ取り組むべきである。また、収納率は前年度より0.2ポイント悪化した。収納率は税収増のみに関わらず、総合交付金等にも影響が及ぶことから、早期改善を強く求める。一方で、モーターボート競走事業は堅調な収益を上げ、市長や職員の努力の成果であると評価する。

## ④自民クラブ



- 歳入…市税が前年度比1.5%減となったが、地方特別交付金を加えると減少分を補っていると捉えている。
- モーターボート競走事業収入…SG競走の開催等により、一般会計への繰入金が増え29億円となった。引き続き、収益の確保と高グレード競走の誘致に尽力いただきたい。
- 歳出…将来的な施策をそれぞれ取り組んでおり、各事業の目標、目的を理解し、最小の経費で最大の効果を挙げることができるようお願いしたい。

令和6年度は、第7次青梅市総合長期計画の2年目として、7回の補正予算を計上し、市民福祉やサービスの向上に取り組んだものと捉えている。経常収支比率は0.4ポイント改善し、98.7%となったが、財政当局からは、このまま改善が進むとは断言しづらい材料が多くあるとの答弁があった。とはいえ、年度当初には100%を超える見込みであった数値が改善されたことについては、その要因をしっかりと分析し、市政運営の糧とすべきであると考えられる。

## ⑤市民フォーラム青梅・都民ファーストの会



- 学校給食の無償化…多摩地域でも早々に学校給食の無償化を実行したことは、大いに評価する。
- 介護人材対策事業…職員が作成したPR動画はクオリティが高く、取り組みについて高く評価する。
- 駅前公衆トイレ修繕…奥多摩町で行われているトイレ美化運動のように、さらなる美化や温水便座なども検討いただきたい。

実質単年度収支のマイナス、財政調整基金を10億円取り崩すなど、財政運営の厳しさが改めて浮き彫りとなった。一方、基金全体では1億4000万円の増加を確保、さらに公共施設整備基金を10億円以上積み増し、市債残高も12億5000万円の減となり、返済を着実に進めている点は評価すべきである。経常収支比率は、98.7%と依然として極めて高く、自主財源の確保、財政構造の弾力性向上は喫緊の課題である。また、財政力指数は0.776と微減し、物価高や人件費高騰、子育て関連経費の増加等により、交付税依存度が高まる懸念が残る。



# 一般質問

9月定例議会では、21名の議員が  
一般質問を行いました。



インターネットの議会映像配信にて、  
すべての内容を御視聴いただけます。



青梅市議会映像配信二次元コード

## 用語の解説

### 注1…樹林墓地（4面・久保議員）

樹木をシンボルとし、その下の埋蔵施設に共同で焼骨を埋蔵する墓地。

### 注2…ビブリオバトル（4面・長谷川議員）

自分が読んで面白いと思った本を制限時間内に紹介し、参加者全員の投票によりチャンプ本を決める、本の紹介コミュニケーションゲーム。

### 注3…THE ROAD RACE TOKYO TAMA 2025（5面・中野議員）

令和7年7月13日（日曜日）に多摩地域で開催された国際自転車ロードレース。エリート男子は武蔵野の森公園をスタートし、JR青梅駅前へフィニッシュする距離133.8キロメートル、エリート女子はJR青梅駅前をスタート&フィニッシュとする距離33.5キロメートルで実施された。

### 注4…関係人口（5面・茂木議員）

移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域や地域の人々と多様に関わる人々のこと。



### めぐろ えり（市民フォーラム青梅・都民ファーストの会）

- 1 小中学生のスマホ・タブレット利用の課題と対応について
- 2 雑がみ・ダンボールの回収体制の見直しと促進について
- 3 多摩川1万人の清掃大会について



#### ■小中学生のスマホ・タブレット利用の課題と対応について

**問**教職員と児童・生徒間の私的連絡が発覚した場合、教育委員会としてどのように調査、再発防止を行うのか伺う。

**答**東京都教育委員会が「教職員の服務に関するガイドライン」の中で、「私的なメール、SNS等の禁止」について定めており、私的連絡について情報提供があった場合には、学校の管理職が当事者に事実確認を行い、事実であれば指導を行うとともに教育委員会に報告することとしている。また、再発防止のために管理職から当事者への確認も適宜行う。

#### ■雑がみ・ダンボールの回収体制の見直しと促進について

**問**近隣自治体の取り組みを参考にし、回収体制の改善を検討してはどうか。

**答**ダンボールの収集については、今後も収集方法や回数、地域の資源回収への利用促進など総合的に検討していきたい。



### くぼ とみひろ（自民クラブ）

- 1 樹林墓地（合葬墓）について
- 2 包括連携協定について
- 3 有害獣対策について



#### ■樹林墓地<sup>注1</sup>（合葬墓）について

**問**今後、墓じまいされた方の遺骨を樹林墓地に受け入れることについて、市の見解を伺う。

**答**現在、改葬による申し込みは受け付けていないが、ニーズがあることは承知しており、対応についても課題であると捉えている。今後、埋蔵可能数を精査し、生前募集枠の拡大や、「墓じまい」による改葬への対応が可能であるか等を確認するなど、樹林墓地に対し高まるニーズへの対応について検討していく。



#### ■有害獣対策について

**問**緊急銃猟の実施に備えた準備をしているのか伺う。

**答**令和7年7月に国の説明会が開催され、緊急銃猟ガイドラインが示されたことから、本市においては、現在、課題整理や情報収集に努めている。



### しまざき みのり（自民クラブ）

- 1 市内在留外国人及びインバウンドの現状と課題について
- 2 青梅市吉川英治記念館の現状及び今後について
- 3 鳥獣被害対策の強化について



#### ■市内在留外国人及びインバウンドの現状と課題について

**問**外国人に対し、こちら側から、ルールを守り、適応してもらう努力を重ねる必要があると考えるが、市長の見解は。

**答**外国人の方々に、日本のルールや生活習慣を理解していただき、地域に適應できるよう環境を整えていくこと。また、互いの文化を尊重し、理解を深め、共生社会を築いていくことが重要であると考えている。今後も引き続き、多文化共生社会の実現に向け、市民と外国人の方が互いに理解を深められるような環境づくりに努めていく。



#### ■鳥獣被害対策の強化について

**問**サル、クワナ、くくりワナ等の増設に対する予算措置等を検討すべきと思うがどうか。

**答**市では、必要に応じて農作物被害防除のための備品や消耗品の購入を行っており、青梅猟友会に意見を伺いながら、サルに有効なワナなどの導入について検討していく。



### はせがわ まゆみ（公明党）

- 1 小中学生に対する読書活動の取組と推進について
- 2 循環型社会の実現に向けた取組について



#### ■小中学生に対する読書活動の取組と推進について

**問**読書活動推進の一環として、ビブリオバトル<sup>注2</sup>の開催を検討していただきたいが市の見解を伺う。

**答**ビブリオバトルの開催については、課題の整理や、学校および地域書店等との関わり方も含め、先行自治体の実施内容等について調査、研究したうえで、その実施に向け検討していく。



#### ■循環型社会の実現に向けた取組について

**問**家庭からの廃食用油回収に関して、市民が日常に立ち寄る場所を活用した回収の取組の推進について伺う。

**答**今年度は青梅産業観光まつりの会場で試験的に回収を行う予定である。廃食用油の回収拠点を拡大することは、燃やすごみの減量とともに循環型社会の形成促進に資する事であると捉えており、他自治体の動向を注視し、拠点回収の拡大に向けて、引き続き研究していく。



なかの よしのり 中野 芳則 (自民クラブ)

- 1 「THE ROAD RACE TOKYO TAMA 2025」と市の連携について
- 2 今後の学校施設のあり方について



■「THE ROAD RACE TOKYO TAMA 2025<sup>※3</sup>」と市の連携について

問 今後もロードレースを開催するのであれば、日程やコース設定について、改善を図るべきと考えるが、来年以降の開催予定はあるのか。

答 都が運営主体のため、市民への情報提供を主体的に行えなかった。今後、都と連携した大規模イベント等を開催する際は、計画の段階から市の意見を伝えるとともに、市民等への情報提供や説明ができるよう取り組みたい。今後の開催は現時点では未定とのことである。

■今後の学校施設のあり方について

問 学校施設の再編にあたり、地域の特性を生かした地区割や防災拠点としての役割などを網羅した計画とする必要があると思うが見解は。

答 今後は再編案への各地区からの意見を踏まえ、審議会でさらに協議を深めていただき、最終的にまとめられる答申を十分に尊重するとともに、教育環境の抜本的な改善が図られるよう、学校づくりを進めていく。また、地域の方々も使いやすい施設となることも重要と考えている。



あべ よしひろ 阿部 悦博 (自民クラブ)

- 1 少子化に伴う部活動のあり方について
- 2 私立幼稚園に通う心身及び情緒障害児への適切な保育について



■少子化に伴う部活動のあり方について

問 部活動の再編・統廃合、児童・保護者への情報共有、部活動を軸に進学する学校の選択肢を広げることについて、市の見解は。

答 部活動の再編・統廃合は、大変意義あるものであり、具体的に進めていく必要があると考える。児童・保護者への情報提供は、中学訪問時の紹介、学校説明会時の資料配布や説明、ホームページへの掲載を行っている。進学する学校の選択肢を広げることについては、通学の安全性を第一に考え、一定の制限を設けることはやむをえないが、可能な限り柔軟に指定校変更による対応を続けていく。



■私立幼稚園に通う心身及び情緒障害児への適切な保育について

問 心身及び情緒障害児への保育に対する人件費の補助を検討しては。

答 私立幼稚園への都の補助金の上乗せ補助については、近隣自治体の状況や財政運営も踏まえながら検討していく。



やまざき てつお 山崎 哲男 (自民クラブ)

- 1 青梅市の学校教育について  
—ICT教育、外国人児童・生徒への対応、学力向上について—



■青梅市の学校教育について

問 ICT教育をどのように推進していくのか。

答 今年度は、都の「デジタルを活用したこれからの学び推進地区事業」を活用し、デジタルを活用した主体的・対話的な学びや個に応じた学びなど、これから求められる授業に関する研究を深め、その成果を各小中学校で共有していく。



問 今後の青梅市の学校教育についてどのように進めていくのか。

答 急速にグローバル化や情報化が進展する今日、これからの時代に求められる学校教育は、変化の大きい予測困難な社会を生き抜く力を育む教育であると考えている。豊かな自然、歴史ある文化や伝統を育んだ郷土である青梅を土台に、多様な地域の人材から学ぶ機会をも創出し、今後も、探究的な学習活動やICTを活用した授業改善を推進し、子どもたちが変化に対応できる力と自ら未来を切り拓く力を身に付けられる学校教育の充実に努めていく。



もぎ りょうすけ 茂木 亮輔 (日本維新の会)

- 1 地域活性化イベントに関する取組について  
—三十路式から始めるローカルコミュニケーション—
- 2 二地域居住等に関する取組について  
—関係人口増加の視点から—



■地域活性化イベントに関する取組について

問 青梅市でも、三十路式の開催を検討してみてもどうか。

答 三十路式は、全国的に有志による実行委員会形式での開催事例が多く、まずは市民の方々からの開催に向けての気運の高まりが重要であると考えている。現在、有志の方々が開催に向けて取り組んでいるとの情報は得ていないが、市民等からの相談に対しては、積極的に応じていきたい。



■二地域居住等に関する取組について

問 特定居住促進計画の策定や支援法人を指定し、二地域居住の受入れを強化する環境整備を実施していくべきと考えるが、市長の見解は。

答 特定居住促進計画の策定や二地域居住等支援法人の指定については、二地域居住等にかかる取組手法が、本市における関係人口<sup>※4</sup>の拡大に資するものであるか、調査・研究したうえで判断をしていく。



さいた こうき 迫田 晃樹 (自民クラブ)

- 1 青梅市の空き家対策について  
—空き家の所有者に前向きな判断を促す施策を—
- 2 用途廃止となった公共施設の除却計画について  
—将来世代に負担を先送りしないために—



■用途廃止となった公共施設の除却計画について

問 公共施設の解体にかかる多額の費用負担を将来世代に先送りしないよう、「旧上成木ふれあいセンター」(元第九小学校)と「旧北小曾木ふれあいセンター」(元第十小学校)を令和8年度に、「学校給食センター藤橋調理場」を令和9年度に除却完了するよう、取り急ぎ必要な予算を確保するべきと考えるが、市長の見解は。

答 現時点で、3施設の解体に要する予算を確保する具体的な計画はないが、解体の必要性は十分認識している。施設の解体については、1つの施設でも事前の調査や設計なども含め、複数年度の予算化が必要となるため、基金からの充当や起債の発行など、財政状況を考慮したうえで、適切に判断していきたい。



やまだ としお 山田 敏夫 (自民クラブ)

- 1 物価高騰による公共工事等への影響について



■物価高騰による公共工事等への影響について

問 公共工事の単価や工期の状況が、入札不調につながっているのか。

答 近年、入札不調件数が増加傾向にあるものの、把握できている辞退理由を確認すると、技術者や従業員の不足、金額や工期の不足、会社都合などさまざまであり、工事の単価や工期の影響だけが原因で不調が増えているとは捉えていない。

問 都市インフラを維持管理する立場として、市民生活に与える影響はどのようになると考えているか、市の見解は。

答 工事単価の上昇は、今後も続くものと予想され、工事の執行にも少なからず影響を与えるものと捉えている。市民生活を支える都市インフラの機能を維持していくことは非常に重要であり、工事単価の上昇等、先行きが見通せない状況ではあるが、限られた予算内で適切に工事費を確保できるように努めていく。





やまのうち くみこ  
山内 公美子 (公明党)

- 1 持続可能な産後ケア事業について
- 2 過去の大震災から学ぶこと



### ■持続可能な産後ケア事業について

**問**持続可能な産後ケアを展開するために、助産師会からの意見を聞きながら対策を講じてもらいたいと考えているが、市長の見解は。

**答**市内および近隣で活躍する助産師と本市の間で、情報の提供や共有を図ることは、有用であると認識している。東京都助産師会西多摩地区分会の意見は、まさに現場の声であり、貴重な意見として伺っていききたい。今後も、産後ケア事業の持続可能性を高め、安心して産み、育てることのできる環境の確保に努めていく。

### ■過去の大震災から学ぶこと

**問**水道が断絶した場合の井戸の活用、その井戸の維持について補助等の考えはあるか。

**答**まずは、避難場所や避難所、地域の避難施設となる集会施設などの敷地内にある井戸の活用について、先進自治体の取り組み事例を参考に検討していく。



てらしま かずなり  
寺島 和成 (自民クラブ)

- 1 自治会活動の支援について
- 2 青梅市公式動画チャンネルの更なる活用について
- 3 スポーツ施設の整備改修等について



### ■自治会活動の支援について

**問**自治会への財政面での支援についての考えは。

**答**「自治会振興交付金」「集会施設設置等事業補助金」「集会施設用地借上料補助金」等の支援を実施している。自治会振興交付金については、加入率の減少に伴う自治会の合併などにより交付金額が減少し、金銭的負担が増加してしまう懸念があることは認識しており、現状に即した算定基準額について、自治会連合会の意見を伺いながら、見直しを検討していく。

### ■スポーツ施設の整備改修等について

**問**青梅スタジアム、TCNスポーツパーク永山の整備について伺う。

**答**青梅スタジアム野球場は、「打球が防球ネットを超えてしまう恐れ」「ダッグアウトの排水管の詰まり」、TCNスポーツパーク永山については、「多目的な利用によるグラウンドの傷み」「地形的な問題によるグラウンドへの流水」等の課題があると捉えており、これらの施設について、将来的な視点も踏まえ、計画的に改修を行う必要があると考えている。



こじょう のがこ  
湖城 宣子 (公明党)

- 1 青梅市の子育て環境の充実を  
一子どもたちの未来に今できること
- 2 買い物困難者支援について



### ■青梅市の子育て環境の充実を

**問**子どもたちを対象とした事業に対し、「こどもまんなか応援基金」を財源として、補助金等の支援を行ってはどうか。

**答**今年度から開始した青梅市こども計画では、「こどもがまんなかのまちづくり」を基本理念に掲げ、その実現に向け、特に重要な施策の具体的な取り組みを実施するための財源として、こどもまんなか応援基金を活用することとしている。市民が実施する青梅市の未来を担う子どもたちを対象とした事業への基金の活用は、今後研究していく。

### ■買い物困難者支援について

**問**買い物困難者の支援について市はどのように考えているか。

**答**マイナンバーカードを活用したタクシー運賃助成事業やグリーンスローモビリティの本運行、移動スーパーの周知などを通じて、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、買い物環境のさらなる向上に努めていく。



いのうえ たかし (日本共産党青梅市議団)

- 1 戦後80年の平和の取組と横田基地問題について
- 2 AEDを有効に活用できる環境の整備と啓発を



### ■戦後80年の平和の取組と横田基地問題について

**問**防衛省から子ども版防衛白書のような「まるわかり！日本の防衛」が届いても、学校で配布・活用すべきではないと思うが、見解は。

**答**市としては、当該冊子は国の施策を理解するための一資料に位置付けられるものの、教育の中立性などから、学校教育において配布することは慎重な判断が必要であると考えている。

### ■AEDを有効に活用できる環境の整備と啓発を

**問**AEDを24時間営業のコンビニエンスストア等に設置することを検討してはどうか。

**答**市の施設に設置するAEDは24時間使用できるよう、屋外に設置しているが、学校などは夜間使えない状況にある。AEDの設置場所や使用時間等の空白地域が想定されるので、そこをどうカバーしていくかに関しては、民間施設の把握等も含め、課題であると捉えている。



かた や ひろお  
片谷 洋夫 (市民フォーラム青梅・都民ファーストの会)

- 1 多摩川のバーベキューのごみ、騒音、急増している外国人来訪者への対策などについて
- 2 職員の人材確保、ハラスメント対策について
- 3 選挙の投票率向上を



### ■多摩川のバーベキューのごみ、騒音、急増している外国人来訪者への対策などについて

**問**多摩川でのバーベキューごみの不法投棄、騒音などのトラブルをなくすため早急に市の管理下に置き、有料化すべきと思うが市長の見解は。

**答**個別の事案への対応をしっかりと図りつつ、近隣住民の意見も伺い、今年度から河川管理者や関係機関と「河川敷の一部占用」についての協議を始め、有料化も一つの選択肢として、一定のルールを定めた河川敷の利活用に向け、早急に取り組む。

### ■選挙の投票率向上を

**問**期日前投票が増えてきており、ホームセンターなどの商業施設で期日前投票を行ってはどうか。

**答**システム整備にかかる環境や費用等の問題、トラブル発生時の対応や投票管理者等の人的問題もあることから、近隣自治体の状況を参考に取り入れることができるか検証していく。



ふじの ひろえ (日本共産党青梅市議団)

- 1 マイナ保険証の押しつけはやめ、国民健康保険証等の存続を
- 2 在宅福祉など高齢者支援の充実について



### ■マイナ保険証の押しつけはやめ、国民健康保険証等の存続を

**問**国民健康保険の加入者にも一斉に資格確認書を交付すべきではないか。

**答**国からの事務連絡に「コスト等も考慮すると、全員一律に資格確認書を交付する状況ではない」とされていることから、市では国民健康保険の加入者への資格確認書の一斉交付を行うことは考えていない。

### ■在宅福祉など高齢者支援の充実について

**問**訪問支援などの福祉の充実と、高齢者の暮らしの手引きなどの制度の周知徹底を。

**答**これまで制度のはざままで支援が届かなかった方々に対して、複数の支援を横断的かつ包括的に提供することを目的とし、市民が抱える様々な課題に総合的に対応できる体制づくりを進めており、この取り組みをさらに充実していく考えである。周知については、さまざまな機会を捉えて、引き続き制度の理解促進に努めていく。





やまざき よしのぶ  
**山崎 善信** (市民フォーラム青梅・都民ファーストの会)

- 1 青梅市立美術館の今後について
- 2 認知症予防の取組について



■青梅市立美術館の今後について

**問** オープン前の期間を利用した内覧会やワークショップを行うのが良いと考えるが市の見解を伺う。

**答** 改修工事は令和8年3月に完了予定で、令和8年度の1年間を通風乾燥期間としている。今後の当館のあり方について考えるワークショップの開催などオープニングイベントと併せて検討していく。

■認知症予防の取組について

**問** VRを用いた新しい技術などを活用し、早期からの認知症対策を進めるべきだと考えるが、市長の見解を伺う。

**答** 認知症予備群や初期の段階で、早期発見に有用なVRなどの新しい技術については、民間企業や大学などで研究が進められていることは承知している。今後、実証実験などが進められ、実用化に向けてさらに研究が加速されることを期待しており、必要な情報収集に努めていく。



みねざき たくみ  
**みねざき 拓実** (日本共産党青梅市議団)

- 1 市民の健康を増進させるための取組について
- 2 民生委員・児童委員の負担軽減について



■市民の健康を増進させるための取組について

**問** 「生涯現役で過ごす健康寿命日本一のまち」の目標を市民が意識して共有することについての考えを伺う。

**答** 実現は簡単ではないが、この目標を市民や事業者の皆様と共有し、一歩ずつ取り組みを積み重ね、地域全体で健康づくりに取り組んでいくことで、この達成に近づけていきたいと考える。



■民生委員・児童委員の負担軽減について

**問** 欠員地域において一人の民生委員・児童委員に過度な負担がかからないようにあらゆる手立てを考える必要があるのではないか。

**答** 各地区協議会の会長や副会長などが、組織としてサポート体制を整えている。また、民生委員・児童委員が担う相談業務の負担軽減については、本年度から増員した9人の地域福祉コーディネーターと連携し、相談業務の分担を進めるなど、市としても積極的に取り組んでいく。



こうい しんじ  
**鴻井 伸二** (公明党)

- 1 「THE ROAD RACE TOKYO TAMA 2025」による市への影響と今後について
- 2 こども、若者への性被害防止の対策を  
一 加害者・被害者・傍観者にならないために一
- 3 災害救助犬等の活動支援について



■こども、若者への性被害防止の対策を

**問** 「生命 (いのち) の安全教育」を系統的なカリキュラムとして、全小中学校で実施しては。

**答** 市内全小中学校では、年間指導計画にもとづき小学1年生から中学3年生まで、各教科単元の中で「生命の安全教育」に取り組んでいるところである。今後の青梅市における「生命の安全教育」の充実につなげるため、大阪市の小中学校などの先進自治体の視察等も含め、さまざまな事例について情報収集を進めていく。

■災害救助犬等の活動支援について

**問** 災害救助犬の育成団体と災害協定を締結しては。

**答** 市では、地震や土砂災害などの災害時において、災害救助犬による捜索活動は、警察や消防などの活動と同様に、心強い活動のひとつであると捉えている。今後、災害時における応援協定の締結については、協定内容など他自治体の取り組みを参考に研究していく。



ぬのや かずよ  
**ぬのや 和代** (立憲民主党)

- 1 青梅市認知症施策推進計画の策定における市の方針について
- 2 都立誠明学園北側の都有地の活用について  
一 東京たま未来メッセのような施設の誘致を一



■青梅市認知症施策推進計画の策定における市の方針について

**問** 青梅駅ホームの隙間解消や市民センターへのエレベーターの設置などのバリアフリーを推進してほしいが。

**答** 青梅駅ホームと電車の隙間については、JR東日本八王子支社によると、社内の基準値内に収まっており、新たに転落防止の対策を講じる予定はないとのことである。市民センターのエレベーターについては、現在設置の考えはないが、今後、大規模改修等を行う必要がある場合には、配慮に努めていく。



■都立誠明学園北側の都有地の活用について

**問** 青梅市のために土地を活用していただけるよう市長から東京都へ再度交渉していただけないか。

**答** 東京都と青梅市ならびに地元と協議が行われた結果として覚書があり、現在も有効なものとして捉えている。引き続き、東京都と覚書の内容や今後の方策等について、検討や協議を行っている状況である。



のじま としお  
**野島 資雄** (公明党)

- 1 青梅市の今後の学校教育について
- 2 ごみ処理等の問題について
- 3 発達 (療育) 支援に関する現状と課題等について
- 4 女性活躍社会の推進について



■青梅市の今後の学校教育について

**問** 学校施設の再編について、まずは、存続させるための努力の継続と、結果を急ぎ過ぎないようにすることをお願いしたいが考えを伺う。

**答** 学校施設の老朽化対策は、待ったなしの状況であるが、再編案の検討は慎重に進めなければならないと考えている。審議会からの答申の内容を十分に踏まえ、市長部局とも密に連携を図りながら、決して拙速に進めることなく、丁寧かつ慎重に取り組んでいく。

■ごみ処理等の問題について

**問** 資源回収の報奨金の増額あるいは特別報奨金支給要件の緩和など、地域の諸団体の活動支援や一層の資源の有効活用につなげるための対応を求めたいが市長の考えは。

**答** 今後も、資源回収を推進していくために、各団体が実施しやすい環境を作り上げていくことが重要であると考えていることから、支援の仕組みについて、各団体の御意見を伺いながら検討していく。



活動報告

姉妹都市ドイツ・ポツパルト市を訪問



青梅市とドイツ・ポツパルト市が姉妹都市提携を結んで60年が経過し、姉妹都市提携60周年記念青梅市友好親善使節団が2025年10月2日から7日までドイツ・ポツパルト市などを訪問しました。使節団には青梅市議会代表として山崎議長と阿部総務企画委員長が参加し、記念式典に出席するとともに、姉妹都市公園やミッテルラインワイン祭りなどを視察し、ポツパルト市民の方々との交流を深めました。



記念式典  
中央はポツパルト市出身の  
ユリアン・ヨスヴィク連邦議会議員



姉妹都市公園

また、マインツにあるドイツハウス (ラインライトプファルツ州議会) を訪問し、議場などを見学したほか州議会議員とも懇談しました。

# 議案・陳情の議決結果

## 8月臨時議会

### ◆全会一致で可決となった議案◆

議案番号	議案件名
16	和解および損害賠償額の決定について

## 9月定例議会

### ◆全会一致で可決、認定または同意となった議案◆

議案番号	議案件名
17	令和6年度青梅市一般会計歳入歳出決算
21	令和6年度青梅市下水道事業決算
23	令和6年度青梅市病院事業決算
24	令和7年度青梅市一般会計補正予算（第3号）
27	令和7年度青梅市介護保険特別会計補正予算（第1号）
28	令和7年度青梅市病院事業会計補正予算（第1号）
29	青梅市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例
30	青梅市職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

議案番号	議案件名
31	青梅市ひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例等の一部を改正する条例
33	青梅市下水道条例の一部を改正する条例
34	矢端川今井2丁目調節池整備工事にかかる契約の変更について
35	青梅市固定資産評価審査委員会委員の選任について
36	人権擁護委員の候補者の推薦について
37	人権擁護委員の候補者の推薦について
38	青梅市自立センター条例の一部を改正する条例

### ◆賛否が分かれた議案◆

[○…賛成 ×…反対 欠…欠席]

議案番号	議案件名	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	賛成	反対
			中野芳則 自民	山田紀之 自民	寺島和成 自民	茂木亮輔 維新	井上たかし 共産	ぬのや和代 立憲	みねぎ拓実 共産	藤野ひろえ 共産	目黒えり 市都	山崎善信 市都	片谷洋夫 市都	長谷川真弓 公明	山崎哲男 自民	阿部悦博 自民	迫田晃樹 自民	山田敏夫 自民	島崎実 自民	山崎勝 自民	鴨居たかやす 自民	久保富弘 自民	湖城宣子 公明	山内公美子 公明	鴻井伸二 公明	野島資雄 公明		
18	令和6年度青梅市国民健康保険特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	×	欠	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	19	3
19	令和6年度青梅市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	×	欠	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	19	3
20	令和6年度青梅市介護保険特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	×	欠	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	19	3
22	令和6年度青梅市モーターボート競走事業未処分利益剰余金の処分および決算	可決 認定	○	○	○	○	×	欠	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	19	3
25	令和7年度青梅市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20	3
26	令和7年度青梅市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	19	4
32	青梅市乳児等通園支援事業の設備および運営に関する基準を定める条例	可決	○	○	○	○	×	欠	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	19	3

### ◆全会一致で趣旨採択となった陳情◆

陳情番号	議決結果	陳情件名
陳情7-2	趣旨採択	「建築物石綿含有建材事前調査・除去費用の国民への周知と国民負担軽減措置を求める国への意見書」提出を求める陳情書

## 主な議案の内容



### 議案第24号 令和7年度青梅市一般会計補正予算（第3号）

【主なもの】 ■申請件数の増加に伴う遠距離通勤E N J O Y 応援金の増額 ■令和6年分所得税確定に伴う定額減税補給付金対象者の増  
 ■物価高騰の影響を受ける保育所等へ補助金を支給 ■健康センター改修工事にかかる前払金 ■中央図書館における電子書籍の整備  
 ■前年度精算に伴う国庫・都支出金返還金 ■財政調整基金等への積立



### 議案第33号 青梅市下水道条例の一部を改正する条例

災害その他非常の場合における排水設備の新設等の工事について、市長が他の市町村長等の指定を受けた者に工事を行わせる必要があると認めるときは、当該者が排水設備の新設等の工事を行うことができる規定を加えるほか、所要の規定の整備を行う。



### 議案第34号 矢端川今井2丁目調節池整備工事にかかる契約の変更について

令和6年8月下旬の台風第10号等の影響で、雨水が掘削箇所滞水したことによる土質の改良に伴う土工などが増加したこと、ならびに賃金および物価の変動により契約金額を増額する。 【変更前】784,300,000円⇒【変更後】876,925,200円

## 12月定例議会の会議予定

日	月	火	水	木	金	土
30	12/1	2	3	4 本会議 (一般質問等)	5 本会議 (一般質問)	6
7	8 本会議 (一般質問)	9 常任委員会	10	11 常任委員会	12 予算決算委員会 全員協議会	13
14	15	16	17	18	19 本会議	20

会議予定は、変更になる場合がありますので、お問い合わせいただくか、青梅市議会ホームページでご確認ください。

## アンケート調査実施中





皆さまの声を  
お聞かせください

アンケートのご回答は  
こちらからお願いします。

より充実した市議会だよりをお届けするために、  
アンケート調査へのご協力をお願いいたします。

青梅市議会ホームページ  
<https://www.city.ome.tokyo.jp/site/gikai/>

